

平成 23 年 2 月 10 日

都道府県放射線技師会
会 長 各位

社団法人日本放射線技師会
会 長 中澤 靖夫

チーム医療に係る診療放射線技師業務に関する実態調査
調査期間延長のお知らせと調査協力をお願い

平素より本会の事業運営に格別のご理解、ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、本会ではチーム医療に係る診療放射線技師業務の実態調査を平成 23 年 1 月 20 日までの期間で実施し、多くの会員様のご協力を得る事ができました。これも、ひとえに全国の都道府県放射線技師会の皆様のご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

しかしながら、診療放射線技師がおかれている医療現場の実態を示し、チーム医療推進の検討として提議するには、より多くのご協力が必要と考えております。従いまして、この度、本調査の期間を延長することと致しました。

既に多くのご回答をいただいておりますが、なるべく多くの医療現場から回答を得る事により、様々な立場におかれている診療放射線技師の実態を明示できればと考えております。

すでに、本調査についてはご周知いただいているかと存じますが、引き続きご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

記

調 査 名：チーム医療に係る診療放射線技師業務に関する実態調査

調査方法：インターネットを利用したアンケートフォーム形式

<http://www.jart.jp/g2010.html>

調査期間：平成 23 年 2 月 28 日(月)まで

備 考：調査に協力いただいた会員は社会活動カウント（最大 10 カウント）
が付与されます。

以上